

「Yukata De Guide Tour 2016」実施報告書



第1班の皆様(国技館)

NPO 法人 隅田川・江戸文化観光振興会
理事長 蛭間明珠

【はじめに】

2016年8月6日(土)に、「Yukata de Guide Tour」(以下、過去の浴衣ツアーも含んで「本イベント」と表現します)を皆様のご尽力のもと無事開催、終了する事ができました。

本NPO法人の主催するイベントとしては、2006年より今年で11回目を迎えたイベントです。

外国人の方々に「すみだ」の魅力、そして江戸の魅力、日本の魅力を伝えるイベントに成長しつつあります。これからも継続的、発展的に開催をして参りたいと考えており、皆様のより積極的なバックアップをお願いしたいと切に願っております。

以下、本イベントの実行内容、成果と課題、という観点からご報告申し上げます。

目次

- 1. 実行内容
 - I 本イベントの主旨
 - II 開催に向けた準備
 - III 当日の実施内容
 - IV 参加者の概要
- 2. 成果と課題



1. 実行内容

I. 本イベントの主旨

NPO 法人 隅田川・江戸文化観光振興会は、すみだに残る江戸文化をより多くの人に広めたいという思いから、『浅草、両国、向島など隅田川周辺地域を対象として、地域の活性化および観光まちづくりの推進に寄与する事』を目的として2006年5月に設立されました。

当初は、東京都の支援のもと、隅田川の両岸を盆踊りで繋げる「和おどり」をはじめとして、両国の街案内パンフレット、向島のパンフレット作成等「すみだ」に残る江戸文化を広く伝えながら、街づくり、学術、文化、芸術の振興、地元経済の活性化を目指し活動を実施してまいりました。

これまでの活動では、日本人を対象とするイベントが中心でしたが、本イベントについては、海外の方々の日本の伝統文化に対する興味が広まっていることから、伝統的な日本の文化に触れ、実際に体験することで、「すみだ」をきっかけに「日本」をより深く理解し、「すみだ」や「日本」のファンになって欲しいという思いから、旧安田庭園の「納涼の夕べ」および両国2丁目町会の「夏祭り」と時期を合わせて開催を致しております。

II. 開催に向けた準備

プロモーションについて…本イベントの告知を行い、参加者を集めるために以下の取組を実施しました。

- 制作物:カラーのチラシ3,000部、オンデマンドで200部作成。CD-ROM 20枚、墨田区観光協会、NPOのWebページ募集要項作成。
- 広報活動その他

☆6月中旬墨田区観光課及び本NPOメンバーで外国人が多く集まる教会関係、各種外国人向け学校、大学の留学生、その他を延べ2日間回りPR活動を開始しました。

ドイツ大使館、タイ大使館、慶応義塾大学、東京プリンスホテル、港区国際交流協会、社団法人国際文化会館、コスタリカ、パナマ共和国、ウルグアイ、イエメン、ホンデュラス、ハイチ、グアテマラ、ニカラグ、ドミニカ、エジプト、エルサルバドル、エクアドル各大使館の集中する西麻布38興亜ビルには、毎年墨田区議会議員の井上ノエミ氏の絶大なるご協力を頂いております。深く感謝申し上げます。

その他リストアップされた上記以外についてもメール及びパンフレットを送付する等の積極的なPR活動を墨田区観光課、墨田区観光協会と共に実施しました。

☆7月中旬頃からイベントへの申し込み者からのファックスが徐々に増え始めましたが、毎年沢山参加されていた台湾の婦人会の皆様の参加が少なく、その他のPRも例年通り

実施しましたが、昨年のイベントに比べてかなり参加者が減少した事を再度検証しなくてはなりません。

2014年 2015年と沢山のお客様のお申し込みを頂戴し、80名を超えた時点で以後の受付を中止する事態となりましたが、2017年は多くのお客様に来て頂く様にPR戦略を練り直したいと思っています。

Ⅲ. 当日の実施内容

【④ 受付開始】

スタッフ集合は12:30。本NPOメンバー11名、ボランティアスタッフ6名、着楽会殿30名、観光協会殿4名、墨田区観光課殿2名、通訳3名、合計56名が集まり、最終打ち合わせを済ませ、回向院を全員で着替えの為に会場設営を開始して、第11回目のイベントがスタートを切りました。



回向院様からは前年の本イベントの時から、お役に立てるならば自由に使って欲しいと、嬉しい申し出があり、今回も使わせて頂きました。

シティーコアの会場と併せて本イベントに相応しい広くて綺麗な会場を使う事が出来ました。回向院本多副住職様ありがとうございます。

13:30 先ずはお客様をお迎えするスタッフの着替えが開始され、14:30 第1号のお客様が回向院受付にお見えになり、「Yukata De Guide Tour 2016」が始まりました。

受付に現れたお客様を観光協会スタッフが事前申し込み名簿と照合、そして浴衣を選んで着付け開始、これに一人当たり約10～15分、着楽会のメンバーが奮闘を開始しました。

多少の混乱はありましたが、順次着付けが終了したお客様が出発の時間まで待っている間に、昨年に引き続き着楽会メンバーの方が所属する踊りのグループが「かっぽれ」と「獅子舞」を踊ってくれました。日本の伝統的な踊りと衣装を外国人の皆様がとても楽しんでくれたようです。更に井上ノエミ議員のご紹介で参加者でもある10歳の蒼い目の男の子が「黒田節」の踊りを披露してくれました。これには場内から拍手喝采でした。





【② 国技館にて】



浴衣に着替えた1班の皆様が中村ガイド、岩佐ガイド誘導のもとに国技館入り口正面に集合し、色とりどりの浴衣の色が眩しい風景の中で記念撮影をした後国技館バックヤードツアーへ。

続いて30分遅れで第2班が西村ガイド誘導のもと国技館に向かいました。

昨年は観客席から土俵回りを歩いて、支度部屋から貴賓室まで丁寧に回る事が出来ましたが、本年は国技館で子供達の相撲進級試験の真っ最中で、バックヤードに入る事が出来ず、参加されたお客様を升席に座って貰い、子供達の取り組みを見て頂きました。

【③ 安田庭園 納涼の夕べ】



納涼の夕べ

国技館見学を終えた 1 班、2 班を旧安田庭園「納涼の夕べ」へ誘導。まず1班がお茶席へ。そこで丁度お見えになっていた山本区長のお迎えを頂いて、続いて2班がお茶席へ。

この間 1 班当り 30 名弱全体で 60m 名近くの人数の野点を担当して下さいましたお茶席のスタッフの皆様へ深く感謝申し上げます。

【④ トワイライトクルーズ】

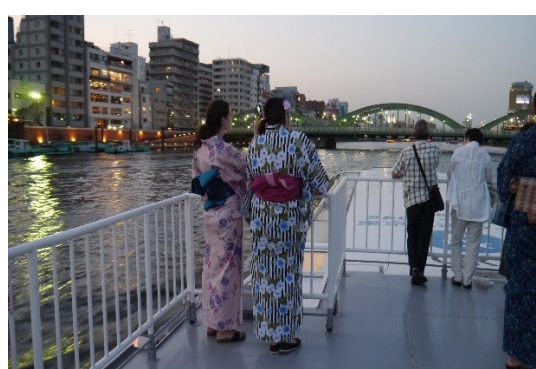
納涼の夕べの会場から道路を隔てた両国船着場へ順次お客様を誘導して、トワイライトクルーズの船へご案内。乗船時に食事と飲み物を配布し、乗船可能なスタッフも同乗して 18:00 無事両国栈橋を出航しました。

食事の内容はイスラム文化の忌避食材を避けた鶏肉と野菜を中心とした美味しいお弁当と、ベジタリアンの方が若干名お見えになりましたので、その方々にも対応を致しました。

生憎船内のマイクの調子が悪く、適切なお案内が出来なかった事は残念でしたが、準備された食事を皆様美味しそうに召し上がってすぐに席を立ってデッキへ向かわれました。

昨年から着楽会メンバーの方が所属する三味線同好の皆様が船中で三味線を演奏して頂きました。最初は外国人が聞いてくれるのか半信半疑でしたが、演奏するうちに拍手の数が増えて、盛大な拍手の中で約 20 分の演奏時間があっという間に過ぎ去ってしまいました。

隅田川を下り、レインボーブリッジで折り返し、再度スカイツリーまで北上して両国栈橋へ到着しましたが、誠に残念ながら昨年と同様、スカイツリーのイルミネーションは 7 時半から点灯されるので、薄暗くなっていた 7:15 頃に栈橋に到着するも、スカイツリーは未点灯の俣と言う結果になってしまいました。





【⑤ 盆踊り会場にて】

踊りの指導は両国二丁目の皆様と踊りの会の皆様で、最初はなかなか踊りの輪の中に入って来ませんでしたが、時間の経過と共に殆どの外国人のお客様が踊りの輪の中に入って来て、指導してくれる方の踊りを見ながら真剣に楽しそうな輪が出来上がりました。



世界共通のボディーアクションなのか、古典的な日本の盆踊りよりも、リズムカルな音楽系の踊りにラテン系の人たちを初めとして皆様が乗りに乗っていました。

【⑥ 着替え会場にて】

夢中になった盆踊りも 8:45 の花火で終了し、皆様は着替えの会場に戻ってこられて、着楽会のメンバーの皆様の最後の奮闘が始まりました。

さすがに最初の着替えよりも短時間で終了する事ができて、お客様にアンケートを書いて頂き、そのお礼として多くのお土産を一人一人に渡す事が出来ました。

お土産はエコバッグ、団扇、おしなり君饅頭、スカイツリー便箋セット等がたっぷり入った袋を嬉しそうに抱えて去っていく外国人の皆様を見ながら、こんな企画を喜んでくれた事で改めて「やってよかった！」と実感しながら、スタッフは会場の整理と使用した浴衣の確認・梱包と慌しく動き回り、打ち上げとスタッフの夕食をかねる香港楼に集合できたのは夜 10 時半を回っていました。

お土産のご提供を頂いた、区役所観光課様、森八様、張福様、日光紙業様、サンコー様、東武タワースカイツリー社様、アートイン安藤様ありがとうございました。

IV.参加者の概要

本イベントの申し込み者については、今回は昨年よりやや少なく 20 カ国と世界各国多岐にわたります。毎年の分布を見てみますと、特定の国がいつも多い訳ではなく、実に様々の国の皆様がお見えになっていることが分かります。

ポイントとしては日本文化の一端を感じて、体験して貰う事で、日本への理解を深めて頂くことが出来るという、本イベントが外国人の間で定着している事が伺われます。

アンケート及び参加者情報は次ページへ。

2.成果と課題

次ページのアンケートを見ても、参加者にとっては満足度の高いイベントである事が伺われます。我々が海外に旅行した場合を考える時、民族衣装の浴衣を着て、現地の一般の方でも入れない施設に入り、隅田川クルーズを体験し、更にお茶のお手前、盆踊り等伝統文化に触れる事の出来る、食事付半日のツアーであれば、日本円で 1 万円以上するパッケージツアーになるものと思われれます。それが墨田区のご好意によりトワイライトクルーズ船をチャーターして頂いた事も加わって、参加者にとっては 4,500 円で参加できるという破格の値段で実現出来ており、さらに沢山のお土産が付いてきます。何よりも参加された外国人のお客様が、素直に喜んでくれた事、その事がスタッフにとっては何よりの励みになります。

本年の 11 回目のイベント「Yukata De Guide Tour 2016」は昨年から正式に墨田区から観光協会を通じてNPO法人隅田川江戸文化観光振興会へ対しての委託事業となりました。

私達がこの 10 年間継続して来たイベントが皆様に認知されて来た事はとても嬉しい事です。オールスミダとしてこのイベントを益々発展継続させなくてはなりません。

最後に本イベントの運営にご協力を頂きました、墨田区役所観光課の皆様、墨田区観光協会の皆様、通訳の西村様、中村様、岩佐様、着楽会の皆様、両国二丁目町会の皆様、そして毎年浴衣をお安くご提供頂いております東京山喜「たんす屋」様に心より感謝と御礼を申し上げて、「Yukata De Guide Tour 2016」の報告を終わります。